

学校評価についてまとめましたので結果をお知らせします。

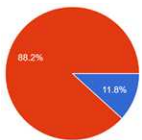
学校評価オンラインアンケート(11月実施)へのご協力、ありがとうございました。集計結果をもとに自己評価を作成し、学校運営協議員の方に評価いただいた後、学校評価ができました。保護者の皆様に集計結果と分析、今後の対応についてお知らせします。

1 学校経営について

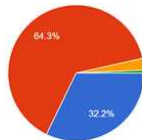
① 夢や希望をはぐくむ元気な学校

4:そう思う 3:だいたい 2:あまり 1:思わない

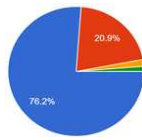
教職員



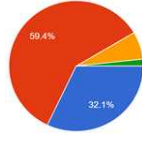
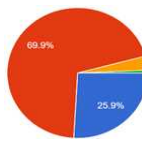
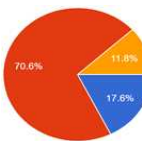
保護者



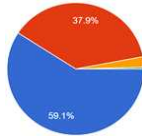
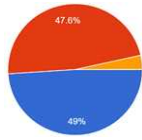
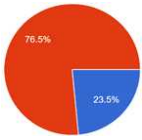
児童



② 静と動のある規律正しい学校



③ 豊かな情操をはぐくむ整備された美しい学校



<結果>

○ どの項目も全体の9割が肯定的な評価です。一方、②「静と動のある規律正しい学校」の教職員の評価は8割となっています。組織として学校全体で規範意識を育てる指導体制に、やや課題を感じている表れととらえています。

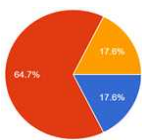
【今後の対策】

- 児童会活動を中心として、児童が自ら課題に気づき、解決に向けて解決しようとする力の育成を推進します。全校集会や学校行事等の機会を生かした規律ある態度の体験的な育成に力を入れます。
- 児童のよさや可能性を引き出し、磨く積極的な生徒指導の手立てを講じます。

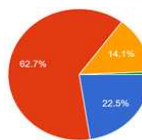
2 子どもの姿について

① 進んで学び、よく考える子

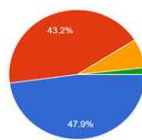
教職員



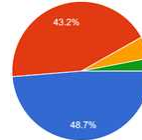
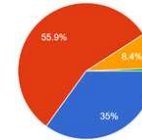
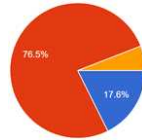
保護者



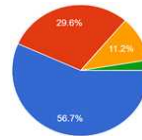
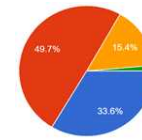
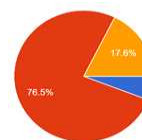
児童



② 進んで行動できるやさしい子



③ 進んできたえるたくましい子



<結果>

○ ①「進んで学び、よく考える子」ならびに、③「進んできたえるたくましい子」の肯定的評価が9割に達していません。児童の学習に対する課題意識や探究心を育む必要があります。

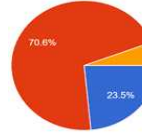
【今後の対策】

- 学びの意義や価値を教えるとともに、児童が問いをもち、粘り強く考える学習指導過程の工夫、児童の活躍を賞賛する場の工夫を強化します。

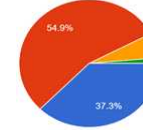
3 教師の姿について

① 日々の教育活動に全力を尽くす教職員

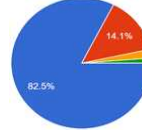
教職員



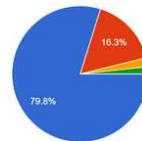
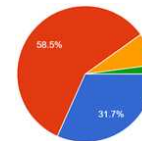
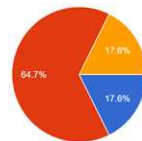
保護者



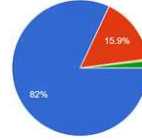
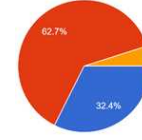
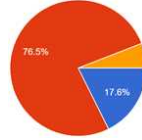
児童



② 自らの言動を通して児童を導く教職員



③ 組織の一員として共通実践をする教職員



<分析>

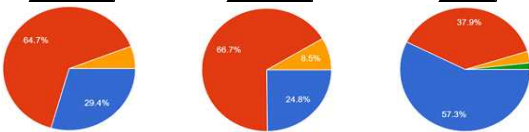
○ いずれも9割以上の肯定的な評価です。指導者はまず自らが襟を正し、人間性の向上に努めるとともに、時代に沿った新たな専門性に挑戦する姿勢が必要です。職員の言動が児童の健全な成長を促すものであるよう、今後もご家庭や地域の声に謙虚に耳を傾け成長する所存です。

【今後の対策】

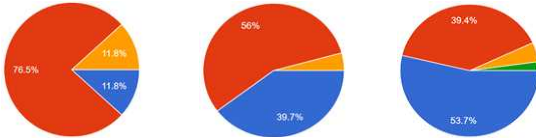
- 教職員の服務規律、コンプライアンス意識の向上、タブレットPCの効果的な活用スキルの向上、教科指導力の向上を目指し、組織全体での研鑽の在り方を工夫します。

4 知・徳・体の取組について

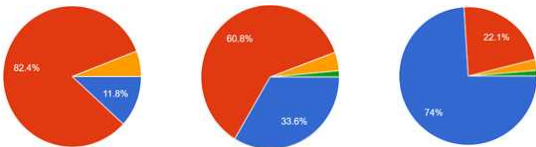
① 「分かる・できる」に向けた授業改善



② 基本的な生活習慣の定着



③ 体育科学習指導ならびに体育的行事の工夫



<分析>

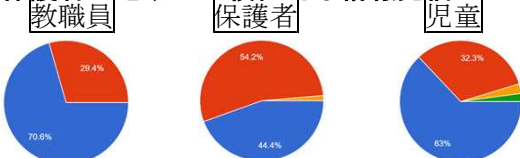
○ いずれの項目も9割に達する肯定的な評価です。一方、②の「基本的な生活習慣の定着」において教職員は8割でした。挨拶、返事、無言清掃等の学校全体で一貫した取組に、やや課題を感じています。

【今後の対策】

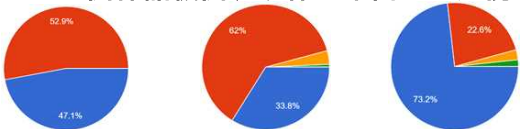
○ 基本的な生活習慣のもつ意義について、全校的に啓発を行い、教職員の共通実践の強化で、各学年の平準化を目指します。

5 保護者・地域との連携等について

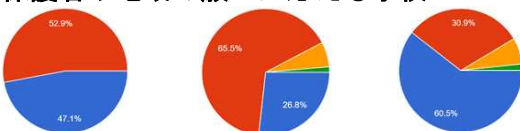
① 保護者や地域への積極的な情報発信



② 地域の人材、自然、伝統を取り入れた教育ならびに関係諸機関、幼保小中高との連携



③ 保護者や地域の願いに応える学校



<分析>

○ どの項目も9割到達の肯定的評価です。地域の他者との積極的な交流活動に期待する声が届いています。

【今後の対策】

○ 保護者の相談や願いに対し、学校のもつ役割の可能性に尽力します。また積極的に地域の方とのコミュニケーションを図るよう努めます。

6 自由記述について

<評価項目の改善策やその他の主なご意見>

- 正門の壁はきれいにならないか。
- 昔の給食車が上がるところや職員駐車場の所々に大きな穴?のような所がありでこぼこしているのを整備してほしい。
- メディアの普及で本を手に取り読むということ自体が疎遠になりつつある中、どのようにアプローチしていくかを学校と家庭がアイデアを出し合っていく必要があるのではないか。
- 全校5分間読書などを設定してはどうか。活字に触れる機会を増やし、精神的にも良い効果があると思う。
- いじめに関して常に目を光らせ、敏感でいてほしい。
- 子どもの自己肯定感を育てる事を大事にしてほしい。
- 遅刻など昔に比べてかなり許されているのがわかる。登校するだけよしとも思っているが本当にそれでののか、ルールは何のためにあるのかも考える。
- 家庭でしっかり教育すべきことが残念ながらできていないと感じる。挨拶を子どもたちにしても無視が常態化している。地域で指導するのが難しい。
- 挨拶、返事、ありがとうについて、使う場面でその言葉に込められる意味を教える必要があると感じる。地域の方々に意味をもって使うことで、ふれあいや交流、感謝の気持ちが育まれると思う。
- 名札を外して下校させていただけないか。子どもたちの個人情報を守りたいため。
- 給食時間が短く急いで食べている様子。早食いは体に悪いと今の時代言われている。仕方がないと思うが。
- 体を使った遊具の減少や学年で遊べる日の設定など、児童数が減る中で、どのような意味があるだろうか。
- 子ども臼太鼓が継承されることが文化の学びとなり有り難い。大人の臼太鼓を舞ってもらえる機会があると、自分たちが何を継承しようとしているのか理解が深まると思う。

<学校行事や参観日についてのご意見>

【行事について】

- 運動会の開催について
【午前中70%、午後まで12%、どちらでも17%】
- 運動会は午前中の方が熱中症の心配が減り、親、祖父母の負担も軽い。
- 運動会に食べるお弁当は特別な思い出がある。今の子どもたちにもそうした経験、思い出を作ってあげたい。
- 運動会の開会式での国旗、校旗掲揚など、国や郷土、母校愛を育む1つの行為に思う。練習した応援を披露する時間も少ない。
- 日曜日ばかりの行事は、できたら土曜日がよい。
- 土日は家庭で子どもとふれあいたいので、行事は平日にできるだけ実施していただきたい。
- 今後も家庭訪問ではなく学校での面談の形がよい。

【参観日について】

- いつも楽しみに参観し、子どもたちの素敵な姿や新たな発見が見受けられて、大変有り難い。
- 午後からの参観がよい。午前の部、午後の部と分けてほしい。
- 参観日で給食の様子も見たい。
- 仕事を何日も休めないなので、全校同じ日にしてほしい。

【今後の対策】

○ 皆様からの貴重なご意見をたくさんいただきました。誠にありがとうございます。いただいたすべてのご意見・ご要望は、職員一同しっかりと受けとめ、学校の教育目標達成と子どもの健全育成のために、積極的に工夫・改善を図るよう努めてまいります。